

2010年度 決算内容のお知らせ

2010年度決算が、代議員会（2011年6月28日開催）にて承認されましたので、内容をお知らせします。

2010年度 決算概要

〔損益計算書〕 期間中の年金・一時金の支払いや掛金収入、年金資産の運用結果による収支を示しています。

（単位：億円）

支 出	2010年度	2009年度	収 入	2010年度	2009年度
給付額	590	603	掛金	659	555
(年金)	(435)	(434)	(標準)	(224)	(224)
(一時金)	(155)	(169)	(特別)	(332)	(331)
移換金等	21	3	(特例)	(103)	(－)
運用損失・報酬等	16	17	受換金等	385	52
数理債務増加額	325	－	運用収益	58	681
未償却過去勤務債務減少額	186	199	数理債務減少額	－	10
当年度剰余金	－	476	当年度不足金	36	－
合 計	1,138	1,298	合 計	1,138	1,298

〔貸借対照表〕 年度末（3月末）の基金の資産及び負債の状況を示しています。

（単位：億円）

資産勘定	2010年度	2009年度	負債勘定	2010年度	2009年度
流動資産	618	220	流動負債等	85	88
固定資産（運用資産）	6,071	5,997	数理債務	9,921	9,595
未償却過去勤務債務等	3,062	3,247	当年度剰余金	－	476
繰越不足金	219	695	別途積立金	－	－
当年度不足金	36	－			
合 計	10,006	10,159	合 計	10,006	10,159

2010年度の 財政検証

法令に基づき決算時に基金財政が健全な状態にあるか、「継続基準」「非継続基準」の2つの観点で実施することが義務付けられています。

〔継続基準による検証〕

基金が継続して運営する上で必要となる債務（数理債務）に対し、年金資産の積立状況を検証するものです。基準に抵触した場合は掛金の見直しを行います。

2010年度末は検証の結果、掛金の見直しは不要となりました。

〔非継続基準による検証〕

基金が解散すると仮定した場合に給付として必要となる額（最低積立基準額）に対し、年金資産の積立状況を検証するものです。基準に抵触した場合は掛金の追加拠出の義務が発生します。

2010年度末は検証の結果、掛金追加拠出の義務は発生しませんでした。

2010年度 決算まとめ

- 2010年度は、厳しい資産運用環境の下、資産構成の見直しや会社からの特例掛金（任意）の拠出等により、年金財政の悪化を比較的少なく抑えることができました。
- 今後も引き続き「安定運用」に留意するとともに連合設立の会社との連携・相談をより密接にし、長期的に財政健全化に向けた取り組みを継続してまいります。

市場動向と当基金の運用結果

2010年度は、欧州財政懸念・円高・東日本大震災等の影響を受けて厳しい資産運用環境のもと、国内株式や外国債券の収益率が低迷しました。その結果、基金全体の運用利回りはプラス1.0%、年金資産残高は6,071億円となりました。(前年度に対し74億円増加)

[資産区分別市場利回り]

資産種類	2010年度	2009年度
国内株式	-9.2%	28.5%
外国株式	2.4%	46.8%
国内債券	2.0%	1.5%
外国債券	-7.5%	0.2%



[当基金の運用利回り推移 (2003年度～2010年度)]

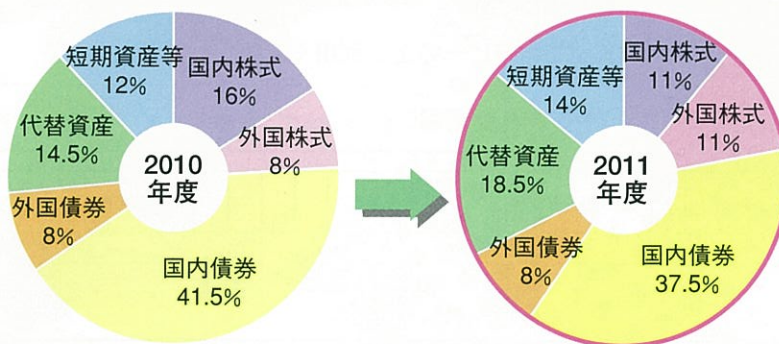


当基金の政策的資産構成割合

当基金では、制度運営・維持に必要な運用目標利回り (3.5%) を達成するため、「政策的資産構成割合」を策定し、安定的な運用をめざしています。

2011年度は、前年度より更に株式資産への配分を引き下げる一方で、利子・配当収入を見込める資産の配分を引き上げる等の見直しを行っています。

[政策的資産構成割合 (2010年度及び2011年度)]



当基金の現況 (2011年3月31日現在)

[加入会社数、加入者数及び年金受給権者数の状況]

項 目		2011年3月末	2010年3月末
加入会社数		86社	85社
加 入 者 数		109,678人	105,365人
受給権者数	キャッシュバランスプラン	11,153人	9,419人
	旧制度(加算年金、適格退職年金等)	56,870人	53,835人

※2011年3月末の数値には、2011年4月加入会社分を含みます。

※2011年4月に新規に加入した会社 (事業所) は、次の通りです。

FSテクノサービス (株)、日立オートモティブシステムズ (株) (厚木事業所及び川崎事業所)、
(株)日立産機システム (相模事業所)、(株)日立テクノロジーアンドサービス、日立ビークルエナジー (株)、
(株)ユニシア九州、ユニシアジェーケーシーステアリングシステム (株)。(50音順)

[給付額の状況]



(単位：億円)

種類	2010年度	2009年度
年金	435	434
一時金	155	169
(脱退一時金)	(24)	(24)
(選択一時金)	(113)	(124)
(遺族一時金)	(18)	(21)

